



学校通信

令和元年6月28日
東京都立葛飾盲学校長
田島 忍
(第4号)

幼稚部の活動の様子

～いろいろな物に触れてみよう～

教諭 桐生 麻野

今年度の幼稚部は、新入生2名を迎え、合計3名となりました。梅雨の季節、じめじめとした日が続いていますが、幼稚部の幼児たちは、元気いっぱい過ごしています。

幼稚部では「いろいろな物に触れる体験」を大切にしています。ここで、最近行った活動の一つ「氷・泡遊び」について紹介します。「氷とお湯の温度の違いを感じる」「手で様々な感触の物に触れること」をねらいとしました。普段、御家庭でリラックスして入るお風呂のようなお湯から触れていき、そこに液体の石鹸を徐々に入れ、ぬるぬるとした感触や泡の感触にも慣れることができるようにしました。その後、水、氷と温度の感覚を広げていきました。氷には絵の具を予め入れておき、水の中から氷を取り出し、画用紙の上で指先や手で触れていく過程で、作品が出来上がる仕組みにしました。

初めは、ぬるぬるとした石鹸の感触や氷の冷たさにびっくりした幼児も、回数を重ねていくにつれて安心した表情になり、自分から手を伸ばして触れることができるようになりました。泡に触れて「石鹸で手を洗うときみたいだね」と言ったり、氷に触れて「アイスと同じだね」と言ったりすることもありました。手の動きも活発になり、教室の友達みんなで声を出し、増々笑顔になっていきました。

幼稚部では、必然的に幼児にとって初めての体験が多くなります。視覚に障害のある幼児にとって、知らない物に触れることには、不安も大きくなります。そのため、指導のベースには、教員との信頼関係、安心感が大切であると考えます。引き続き、幼児たちが安心して活動に取り組めるよう、環境作りに努めていきます。

小学部 移動教室

6月6日(木)～7日(金)の2日間、小学部高学年は移動教室で、東京都夢の島、葛西海浜公園方面へ行きました。1日目は、熱帯植物館の大温室を巡り、花の柔らかさ、葉の形状、バナナやヤシの木の様子などについて、触察を通して知ることができました。また、この日は昼頃から気温が30度近くまで上がり、暑さの中でしたが、葛西海浜公園の西なぎさへ行って、なぎさの風や砂浜の感触を味わいながら、なぎさの生き物や貝殻を見つけるなど、楽しい時間を過ごすことができました。

宿泊先であるBumB東京スポーツ文化館では、レクリエーションを行いました。にこやかな表情で、練習してきた出し物を発表する児童の姿が大変印象的でした。



2日目は、葛西臨海水族園の体験プログラムに参加しました。群泳するクロマグロやペンギンの様子などを観察したり、磯の生き物や脱皮後のイセエビの抜け殻などを触察したりすることを通して、海の生き物について親しみながら、知ることができました。

小学部 小塚